

2023年度(令和5年度)事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

全日本板金工業組合連合会

I. 概況

ロシア・ウクライナ戦争の長期化やイスラエル・ハマス戦争など想定外の混乱は、世界経済に大きな影響を及ぼした。

脱コロナを原動力とする景気回復基調は道半ばに終わったが、コスト増の価格転嫁が進み、デフレ脱却の素地が整ったことやインバウンド需要が回復したことは各分野に多大な恩恵をもたらした。

経済指標は建設投資70兆3,200億円(前年比2.2%増)、住宅着工戸数約82万戸(同4.6%減)、民間非居住着工床面積3,946万㎡(同9.6%減)、鉄鋼粗鋼生産8,699万トン(同2.5%減)となった。

これらの社会情勢を踏まえながら、全板連グループは各都道府県板金工業組合、日板協賛助会員、省庁、企業、機関ほかと連携を図りながら下記の重要方針に基づく事業を実施した。

特に第73回全国建築板金業者東京大会は4年ぶりに通常のかたちで開催することができた。

最後に、能登半島地震の見舞金が3月末日までに1,200万円超に達したことに対して深く感謝を申し上げる。

<2023年度 重要方針>

★「全板連グループのSDGs」～建築板金業界としての積極的な取り組み

1. 基幹技能者制度の有効活用(建設キャリアアップシステムとの連携)
2. 次世代後継者の継続的な育成強化
3. 非組合員の加入推進
4. 福利厚生事業の加入者増強の促進
5. 技能・技術の継承の推進
6. 新たな考えに基づく責任施工保証制度のコンセンサスの形成

II. 実施事業

1. 総合事業

(1) 第73回全国建築板金業者東京大会

期日	2023年5月25日(木)
会場	有明GYM-EX(ジメックス)
総参加者数	3,200名
前夜祭	グランドニッコー東京 台場

主な来賓（順不同・敬称略、前夜祭含む）

	機関名	氏名
本部 来賓	国会議員	石破 茂（衆議院議員／議連会長） 平沢勝栄（衆議院議員／議連議員） 平 将明（衆議院議員／議連議員）
	国土交通省	笹川 敬（大臣官房審議官）
	経済産業省	田上博道（製造産業局生活製品課課長）
	メーカー、商社、関連団体 ほか	
地元 来賓	東京都知事 東京都議会議員	小池百合子 平田みつよし
	メーカー、商社、関連団体 ほか	

<参考> 今後の開催予定地

第74回大会	2024年（令和6年）	岡山県
第75回大会	2025年（令和7年）	島根県
第76回大会	2026年（令和8年）	北海道
第77回大会	2027年（令和9年）	鹿児島県
第78回大会	2028年（令和10年）	岩手県
第79回大会	2029年（令和11年）	徳島県

2. 専門事業

(1) 組織関連事業（担当 沖野東陽副理事長、川島隆司副理事長：責任施工保証制度 再検証サポート）

①中長期的な賦課金・会費のあり方

2023年度にける賦課金・会費の改定は行わず、経費の節減や収益事業の強化等により事業運営費を確保した。また、将来の安定的な事業運営費の確保や、板金会館（空調設備）の改修及び将来の大規模修繕に係る費用について、組合員の負担抑制を念頭に置いた検討作業を継続して2024年度の賦課金・会費の改定に向けた議論を行った。

②新規組合員の加入促進

賦課金・会費の安定的な確保に資するためにも、非組合員からの登録基幹技能者や特定技能制度、建設キャリアアップシステムの各種問い合わせの際に組合加入のメリット等を説明し、組合への加入推進を各組合と連携して実施した。

③責任施工保証の原点に立ち返った制度推進

各組合からの様々な意見を受け、法律家の意見を軸として制度のあり方について、2024年度からの新制度運用開始を念頭に置いた議論を重ねた。

(3) 全国建築板金業者大会における表彰

種別	被表彰者数
感謝状（ブロック会長退任）	2名
感謝状（組合理事長退任）	9名
表彰状（組合理事長6年以上在任）	8名
表彰状（組合事務局10年以上勤務）	3名
功労章（組合役員10年以上もしくは同等功績）	60名
収益事業推進組合表彰 （指定商品部門・保険関連部門）	各部門3組合 合計6組合
全国建築板金競技大会	第45回大会 両部門上位5位 10名
青年部優秀活動組合褒賞	1組合青年部

4. 青年部事業（担当 川島隆司副理事長）

従前同様の支援及び協力を行った。

第48回通常総会／第24回全国青年部部長会議

行事名	期日	会場
第48回通常総会	4. 28（金）	チサンホテル浜松町
第24回 全国青年部部長会議	4. 28（金）	同上

日板協・内閣府届出継続事業の「建築板金業次世代研究会」「全国建築板金競技大会」においては実務的な運営を担い、両事業の中心的な役割を果たした。

Ⅲ. 庶務事項

1. 会員数及び出資口数の状況

(1) 年対比

	2022年度	2023年度	増減数
会員数（組合）	46	46	±0
出資口数（口）	460	460	±0
組合員数 （事業所）	7,286	7,110	-176

2. 役員に関する事項

(1) 役員の名・役職及び担当（理事15名、監事2名）

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
理事長	天野宏昌	総括	理事	小山内喜代司	
副理事長	沖野東陽	組織関連	理事	熊谷義秀	
副理事長	川島隆司	青年部 組織関連（兼）	理事	堀江 岳	
副理事長	野溝年成	教育訓練関連	理事	寺澤大毅	
副理事長	岩間辰夫	環境・エネルギー 関連（日板協）	理事	折式田一豊	
副理事長	中島福則	商品開発関連 （日板協）	理事	後藤 実	
副理事長	川口清文	福利厚生関連	監事	岩室久夫	
副理事長	浅沼勝徳	広報関連	監事	田中英明	（税理士）
専務理事	小島義郎	本部			

3. 職員に関する事項

(1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人数	2人	2人	1人	3人

4. 会議の開催

(1) 総会（1回）

回数等	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第57回 通常総会	5.24(水)	グランドニッコー東京 台場	事業報告・計画、収支決算・ 予算等の承認、役員改選 ほか

(2) 理事会 (5回)

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	4.27(木)	板金会館 (ハイブリッド)	第57回通常総会上程案の決定 ほか
第2回	5.24(水)	グランドニッコー東京 台場	役員改選
第3回	7.20(木)	板金会館 (ハイブリッド)	2023年度事業推進方法の検討 ほか
第4回	11.2(水)	板金会館 (オンライン)	2023年度事業推進状況の確認 ほか
第5回	2024 3.14(木)	板金会館 (オンライン)	2024年度事業計画の概要確認 ほか

(3) 正副理事長会議 (4回) ※板金会館修繕委員会を兼務

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	4.6(木)	板金会館	第57回通常総会上程案の確認 ほか
第2回	7.6(木)	板金会館	2023年度事業推進方法の検討 ほか
第3回	10.4(水)	板金会館 (オンライン)	2023年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2024 2.7(水)	板金会館	2024年度事業計画の概要決定 ほか

(4) 監事会 (2回) 定款第42条に基づく監査

回数	期日	会場	主な内容
第1回	4.25(火)	板金会館	2022年度 決算監査
第2回	10.19(木)	板金会館	2023年度 中間監査

(5) 全国理事長連絡会議 (1回)

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	11.8(水)	自由民主会館	事業経過報告と各種伝達、依頼 ほか 建築板金業振興議員連盟総会(日板協)

<参考>

青年部行事 (必要に応じて各種委員会などをそれぞれ開催)

種別	期日	会場 (オンライン時は主会場)
第1回幹事会	4.7(金)	板金会館
第2回幹事会	4.28(金)	チサンホテル浜松町
第48回通常総会	〃	〃
第3回幹事会 (役員改選)	〃	〃
第24回全国青年部部長会議	〃	〃

第4回幹事会	7.28(金)	板金会館
第5回幹事会	9.14(木)	〃
第6回幹事会	11.17(金)	秋田キャッスルホテル (秋田県)
第7回幹事会	2024 3.1・2(金土)	富士教育訓練センター (静岡県)

5. 会員組合並びにブロックとの連携

期日	行事	場所	出席者
4.7(金)	四国ブロック 総会	愛媛県	天野理事長、小島専務
4.13(木)	関東甲信越ブロック 総会	神奈川県	同上
4.14(金)	東北ブロック 総会	福島県	同上
4.19(水)	九州ブロック 総会	鹿児島県	同上
4.21(金)	西部ブロック 総会	大阪府	同上
4.26(水)	中部ブロック 総会	愛知県	同上
5.12(金)	北海道ブロック 総会	北海道	同上
2024 1.19(金)	東京都板 賀詞交歓会	東京都	小島専務

6. 関係諸機関・団体との連携（抜粋）

期日	行事	場所	出席者
(年度内2回)	中央職業能力開発協会(JAVADA) 中央技能検定委員会	中央職業能力 開発協会	各委員(P.2参照)
8.9(水)	インボイス制度研修会	全国中央会	平野次長、佐藤課長補佐
11.13(月)	黄綬褒章伝達式 (三品信夫氏ほか)	東京都	小林局長
同上	卓越した技能者表彰式 (徳永正典氏ほか)	東京都	黒木係長、福間係員

7. 関連省庁などとの連携

(1) 経済産業省

全国建築板金業者大会への担当官派遣を中心に連携を図った。

(2) 厚生労働省

技能者表彰審査委員会（卓越技能表彰）に野溝年成副理事長を派遣したほか、全国建築板金競技大会における大臣賞・人材開発統括官賞など、従前同様の連携を図った。

(3) そのほか

行政などからの要請に応じ、それぞれ専門分野へ委員を派遣した。

（P.2「技能検定への継続的対応」参照）